米工 MAKERS

米工通信　第６６号
令和３年 11 月 10 日
鳥取県立米子工業高等学校

秋季遠足

１学年

１年生は 171 名が参加し、目的地の皆生海浜公園まで往復約９キロの道のりを歩きました。往路は米川沿いの遊歩道から国道９号線に出て米子医療センター経由で皆生まで、復路は皆生通りを直進するコース。出発時はまさに小春日和の快晴で汗ばむくらいの陽気でしたが、生徒たちはしっかりと歩き切りました。公園ではクラスごとに写真を撮影した後に、お弁当を食べたり、ボールで遊んだり、海岸散策や足湯を楽しんだりしていました。正午になる頃には風が強くなり雨が降り出しそうな気配だったので、急いでゴミ拾いをして帰途につきました。幸い雨は心配には及ばず、全員が無事に学校までたどり着きました。体育祭とは異なり、校外に出て半日以上を野外で過ごして、非日常的な時間を楽しめたのではないでしょうか。公園で過ごす時間帯にもう少し工夫が必要でしたが、まずは延期されていた行事を実施できたことに安堵しています。　（１学年主任・笹川恭子）

２学年

２年生は弓ヶ浜公園に行きました。４月の延期以降、生徒も実施を諦めかけていましたが、担任の先生を中心に実施を検討し、何とか実施することができました。当日は 11 月にしては暖かく、過ごしやすい気候で気持ちよく歩けたと思います。感染対策のため、クラスごとの間隔を５分程度空けて歩いたので大きな問題も無く予定通り到着することができました。到着後はクラスごとに集合写真を撮ったあと、友達同士で楽しく過ごしていました。今年度もコロナ禍でことごとく行事が中止になりましたが、とても久しぶりに校外で活動できたため、みんな良い表情をしていました。最後はクラスごとに公園内のゴミ拾いをして帰路につきました。延期してでも実施することができて良かったです。（２学年主任・宮下 明）

３学年

３年生は恒例の湊山公園が目的地です。春は研修旅行も中止になり、新型コロナに思い出作りの機会をことごとく奪われた学年ですが、ようやく実施できた遠足でした。心配された天気も、みんなの思いが通じ、穏やかな一日でした。密を避けるため５分間隔でクラスごとに出発しましたが、遅れることなくクラスでまとまって到着できていました。噴水の前で集合写真の撮影後、自由行動となりましたが、まず城山を目指す者、園児に混じって公園の遊具で遊ぶ者、なぜか公園内を走り続ける者がみられました。９月から米子城を再現した姿を自分のスマホで見られる「米子城ＶＲ」が始まっており、実際に楽しむことができました。12 時 30 分に全員集合し、清掃活動を行いました。公園内は清掃が行き届いていて、ゴミを探すのに苦労したようです。帰路は雲行きが少し怪しくなったものの、降られることなく無事に学校に帰着しました。　（３年学年主任・坂根大司）

米工 MAKERS

米工通信　第６７号
令和３年１１月１２日
鳥取県立米子工業高等学校

11月は米工読書月間

「読書の秋」になりました。米工図書館でも、図書委員と一緒に展示や広報を行っています。

①図書館報「米工図書タイムズ　第７５号」配布

毎年１回発行している図書館報です。今年も、先生と図書委員のおすすめ本の紹介記事を掲載しています。話題の本、名作、実用書まで幅広いラインナップです。

②図書委員作成のしおり配布

人気の図書委員作成のしおりです。単語帳にマスキングテープやシールを貼り付けて作っています。同じ材料を使っても作る人によって、デザインは様々。読書が楽しくなるしおりです。

③高校生にすすめたい本２０２１（鳥取県立図書館発行）

県内の各学校図書館関係者が選んだ「〇〇したい人へ」おすすめするブックリストです。

読書を勧める雰囲気があっても、本選びに迷う、読む時間がない、読書が役に立つのか、など本を手にとるまえに躊躇してしまう人におすすめするのが吉田裕子『明日の自分が確実に変わる１０分読書』集英社（２０２０年）です。本を読むことで得られるものや４種類の読書の使い分け、スマホの活用など目次をみて気になるところから読んでいくと、本を選びに行こうかなという気持ちになります。

「第５回本、書店、図書館にまつわるエピソード大賞」募集について　＜主催：鳥取県図書館協会＞

鳥取県図書館協会が、読書推進を目的に、鳥取県内の書店や図書館で実際に体験したエピソードや、本にまつわるエピソードを募集しています。詳しくは鳥取県立図書館ホームページ内鳥取県図書館協会「発掘！図書館エピソード大賞」をご覧ください。http://www.library.pref.tottori.jp/la/cat8/cat11/

私の本にまつわるエピソードを１つ紹介します。

２０年近く前、図書館の仕事に対するモチベーションが下がった時期、読んだのが菅谷明子『未来をつくる図書館―ニューヨークからの報告―』岩波書店（２００３年）という本でした。利用者が様々なものを創造する「孵化器」としての図書館のあり方を示したニューヨーク公共図書館の取り組みの全てが魅力的で、図書館がこんなに自由な可能性を秘めていることに感動しました。今も図書館の仕事を続けているのはこの本との出会いがあったからかもしれません。そして昨年、鳥取県立図書館開館３０周年記念シンポジウムで著者・菅谷明子さんの講演を聴くことができ、とてもうれしかったです。当時の自分だったから、この本との出会いがとても印象的だったのだと思います。人によって悩みや克服したい課題はそれぞれです。今の自分に必要な本を選べるのは自分しかいません。まずは、図書館や書店に足を運んでみてはいかがでしょうか。　　（司書主任　安達佐智子）

米工 MAKERS

米工通信　第６８号
令和３年１１月１５日
鳥取県立米子工業高等学校

夏から一気に冬になったような気がします。とはいえ季節は読書の秋。みなさんはいつ読書をしていますか？

記憶に残る本に巡り会えましたか

私は出張時に電車やバスの中で読書をします。この時間は誰からも束縛されない時間ですから、やりたいことに集中できます。その上、不思議なものでアイディアも湧きやすいと感じています。そのため、東京方面への出張も飛行機は利用しません。寝台列車や新幹線を利用して意図的に時間をつくりこれまでも有効活用してきました。

高校生のみなさんなら、通学時の列車内や休憩時間のわずかな時間に読書をしていることと思います。短時間の読書は「到着までに！」「休憩が終わるまでに！」と、「ここまでは読みたい！」という気持ちが高まり、読む速度も上がり意外にたくさん読んでいることがありますよね。そして、少しずつ読み進めていくことで、著者が述べたいことや新たに得た情報を繰り返し考えることができ、より深い理解につながり、自分の考えに反映させることも多くなると思います。

さて、本を読むといろいろな人の考え方を知ることができます。それぞれの本の著者は自身の考えを長い時間をかけて構築しています。また、さまざまな実験や観察をとおして考え方を導き出していることもあります。このように長い時間をかけなければ構築できないことを、私たちは読書によってわずかな時間で得ることができます。これは何倍もの年月を生きているのと同じくらいの価値があり、みなさんの生き方に大きな影響を与えてくれることでしょう。

また、同じテーマでも著者によって考え方に違いがあります。いろいろな本を読んで様々な方向から考えてみることで自分の考え方にも変化が生まれます。何もしなければ変化はありません。考え方に変化がないのは揺るぎない自分の考え方があるようにも見えますが、多様な考え方を受け入れることができなかったり自分の思い込みに気がつかないことも多分にあるのではないでしょうか。

小説や自叙伝を読めば、心はその時代や地域へ瞬間移動し、登場人物に自分を重ね、自分ならどうするのだろうと自分事に置き換えてみることで、普段気がつかなかった自分の一面に気づいたり、架空の世界であるがままに生きる本来の自分を感じることができます。

みなさんは記憶に残る本に巡り会えましたか？米工図書タイムズで先生方や生徒のみなさんがお薦めする本が図書館に展示されています。ワクワクした感動をみなさんも共有してみませんか。私は高校生の時に井上ひさしさんの「吉里吉里人」という本にワクワクしたことを覚えています。東北の小さな村が突如「吉里吉里国」を名乗り独立を宣言するのです。国を創ることは、ものをつくることに通じる部分があったからでしょうか。このときは頭の中からしばらく東北弁が抜けなくなってしまいました。今でもこの本は大切に持っています。

校長　松川　明義

米工 MAKERS

米工通信　第６９号
令和３年１１月１７日
鳥取県立米子工業高等学校

福米西小学校　出前授業

工業教育の普及と、ものづくりの楽しさを子どもたちに知ってもらうために、環境エネルギー科課題研究で「ＵＶレジンを使ったアクセサリー作り」に取り組むことにしました。

今回、縁あって福米西小学校さんで出前授業を行わせていただきました。初めての試みで、準備段階から苦戦しました。ただ、なかなか経験できない機会をいただけたとあって、小学生に喜んでもらうために！と準備に励みました。

１１月１日、小学生を前に緊張した面持ちで授業開始。想定外の事がたくさん起こり、授業終了後は、高校生も放心状態。しかし、小学生が楽しんでくれた様で達成感に満ちていました。

小学生の感想

●これから、何かものづくりをしてみたい！

●一切興味はなかったけど実際作ってみるとすごく楽しかった！

●高校生の説明が分かりやすかった！

高校生の感想

●私たちも慣れない事で苦戦したが小学生が楽しそうにアクセサリーを作ってくれて嬉しかった。

●説明を聞くときはきちんと静かに聞いてくれて作業がスムーズに行えて良かったと思う。

●小学生と交流できてよかった。

ＵＶレジンを使ったアクセサリー

一人ひとりが思い思いの作品を作り、世界に一つだけのアクセサリーが完成していました！これをきっかけに、ものづくりにどんどんチャレンジしてほしいですね！

１２月には啓成小学校への出前授業があります。今回の経験を活かし、また頑張ります！

環境エネルギー科　川口　友香

米工 MAKERS

米工通信　第７０号
令和３年１１月１９日
鳥取県立米子工業高等学校

全国工業高等学校長協会（全工協）の『ジュニアマイスター』につながる検定試験の中のひとつに「リスニング英語検定」があります。『英検』と呼ばれるものの中では「実用英語技能検定」「TOEIC」「GTEC」などがよく知られていますが、それらは「Reading・Listening・Writing・Speaking」の４技能を試されるのに対して、リスニング英語検定はその名の通り「Listening（聞き取り）」だけで行われ、しかも工業(高校)に関する内容がほとんどです。

Let's study "工業英語"！

lathe	welding	vise	file	soldering	circuit tester
pinchers	survey	diagonal	diameter	rectangle	clockwise

みなさんは上記の単語の意味がわかりますか？　リスニング英検ではおなじみの単語ばかりですね。 しかしながら「lathe=旋盤」「vise=万力」などの用語は私の生活の中で一度も使用されてこなかったので、米工に赴任するまでこれらの用語になじみがありませんでした。長年英語教育に携わってきましたが、恥ずかしいかぎりです。逆に、**生徒のみなさんは在学中も卒業してからも、工業の専門用語に関わる可能性が高いので、知っておくことが望ましいと思います。**「英語は関係ないよー」ではないのです。海外出張に行かなくても、海外からの顧客と英語で仕事の話をする必要があるかもしれません。さらに現在の状況では「リモートワーク(remote work)」や「オンライン会議（online meeting)」などが可能になったことで仕事もますますグローバル化して、英語などの外国語の使用機会が増加しています。今だからこそ英語で専門用語を操ることに挑戦してみましょう！

実施年度	受験者数	１級合格者数	２級合格者数	３級合格者数	全合格者数（合格率）
令和元年度	１６９	１９	４６	６７	１３２（７８.１%）
令和２年度	１０６	１	１０	２８	３９（３６.８%）
令和３年度	１５２	１１	５４	５３	１１８（７７.６%）

この表はリスニング英検の最近の受験結果です。一般の英検との最大の違いは、**級によって問題が異なるのではなく同じ問題で得点によって級が決まる**という形式です。**１００点満点で９０点以上は１級で、８０点以上は２級、７０点以上が３級**となります。また、ジュニアマイスターのポイントは**１級１２点、２級７点、３級２点**となっています。**年に１回**ですから、まだ受験していない人は来年の１０月に挑戦してみましょう。

"The deadline for the part is ten thirty in the morning the day after tomorrow" ---- "I see."
「その部品はあさっての午前１０時半が納期です。」「わかりました。」
"I attach the parts in a diagonal line of the bolt." 「そのボルトの対角線上に部品を取り付けます。」

これらの表現がすんなり理解できるようになって、将来仕事で役立ててくれるのが楽しみです。私もまだまだ、工業英語を勉強中です。Let's study English technical terms together!　いっしょに工業英語を勉強しましょう。来週には新しい ALT(外国語指導助手)の先生も赴任されますので、英語の授業を楽しみにしてくださいね。

英語科　笹川恭子

最初の表中の英語の意味は上段左から**【旋盤・溶接・万力・やすり・はんだ付け・回路計】**
下段は**【ペンチ・測量・対角線・直径・長方形・時計回り(右回り)】**でした。いくつ分かりましたか？